

令和 3 年度
名張市
健全化判断比率等審査意見書

実 質 赤 字 比 率
連結実質赤字比率
実質公債費比率
将来負担比率
資金不足比率

名張市監査委員

名 監 第 8 6 号
令和4年8月22日

名張市長
北 川 裕 之 様

名張市監査委員 菅 生 治 郎
同 永 岡 禎

令和3年度名張市健全化判断比率等審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により審査に付された令和3年度名張市健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について審査を行った結果、次のとおり意見を提出します。

令和3年度 名張市健全化判断比率審査意見書

1. 審査の概要

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として審査を実施した。

なお、関係資料をもとに担当職員の説明を聴取し、審査の参考とした。

2. 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていることが認められた。

各比率及び個別意見については下記のとおりである。

記

(1) 比率

(単位：%)

健全化判断比率	令和3年度	令和2年度	全国平均	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	－（黒字）	－（黒字）	－	12.63	20.00
②連結実質赤字比率	－（黒字）	－（黒字）	－	17.63	30.00
③実質公債費比率	15.8	16.0	4.7	25.0	35.0
④将来負担比率	161.6	179.7	8.4	350.0	－

※算定数値がないものは「－」で表示

※全国平均は令和2年度の市区平均値(総務省：令和4年版地方財政白書による)

(2) 個別意見

①実質赤字比率について

黒字につき比率算定なし。

②連結実質赤字比率について

黒字につき比率算定なし。

③実質公債費比率について

実質公債費比率は15.8%となっており、前年度と比較すると0.2ポイント低下している。早期健全化基準を9.2ポイント下回っているが、令和2年度の全国平均値と比較すると11.1ポイント上回っている。

④将来負担比率について

将来負担比率は161.6%となっており、前年度と比較すると18.1ポイント低下している。早期健全化基準を188.4ポイント下回っているが、令和2年度の全国平均値と比較すると、153.2ポイント上回っている。

実質公債費比率及び将来負担比率は、国の示す基準の範囲内ではあるものの、依然として非常に厳しい結果となっており、将来を十分に見据えた計画的な財政運営に努められたい。

令和3年度 名張市病院事業会計 資金不足比率審査意見書

1. 審査の概要

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により審査に付された病院事業会計の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として審査を実施した。

なお、関係資料をもとに担当職員の説明を聴取し、審査の参考とした。

2. 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていることが認められた。

各比率及び個別意見については下記のとおりである。

記

(1) 比率

(単位：％)

比率名	令和3年度	令和2年度	経営健全化基準	備 考
資金不足比率	—	—	20.0	

※資金不足が生じていない場合は、算定数値がないため「—」で表示

(2) 個別意見

資金不足が生じていないため、比率算定なし。

短期流動性を表示する流動比率は99.9%となっており、前年度と比較すると37.5ポイント上昇しているが、100%を下回っており、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要がある。

令和3年度 名張市水道事業会計 資金不足比率審査意見書

1. 審査の概要

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により審査に付された水道事業会計の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として審査を実施した。

なお、関係資料をもとに担当職員の説明を聴取し、審査の参考とした。

2. 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていることが認められた。

各比率及び個別意見については下記のとおりである。

記

(1) 比率

(単位：%)

比率名	令和3年度	令和2年度	経営健全化基準	備 考
資金不足比率	—	—	20.0	

※資金不足が生じていない場合は、算定数値がないため「—」で表示

(2) 個別意見

資金不足が生じていないため、比率算定なし。

短期流動性を表示する流動比率は 566.1%となっており、前年度と比較すると 92.2 ポイント上昇している。流動資産が流動負債を大きく上回り、資金剰余金が発生しているため、資金的には良好な状態にあると認められる。

令和3年度 名張市下水道事業会計 資金不足比率審査意見書

1. 審査の概要

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定により審査に付された下水道事業会計の資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として審査を実施した。

なお、関係資料をもとに担当職員の説明を聴取し、審査の参考とした。

2. 審査の結果

審査に付された下記の健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていることが認められた。

各比率及び個別意見については下記のとおりである。

記

(1) 比率

(単位：%)

比率名	令和3年度	令和2年度	経営健全化基準	備考
資金不足比率	—	—	20.0	

※資金不足が生じていない場合は、算定数値がないため「—」で表示

(2) 個別意見

資金不足が生じていないため、比率算定なし。

短期流動性を表示する流動比率は 92.4%となっており、前年度と比較すると 23.7 ポイント上昇しているが、100%を下回っており、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要がある。